

REBINDのニュース

運営者の顔が見えるプロジェクトを目指して

～第一弾 協力施設連携室の紹介～

REBINDは、厚生労働省の委託のもと、国立国際医療研究センターと国立感染症研究所(NIID)が連携して立ち上げた、新興・再興感染症に関するデータバンク事業です。本事業は、全国の研究協力機関と多くの患者様のご協力のもと運営が成り立っております。私たちの活動や理念、そして最新の情報を皆様にお届けし、より円滑に運営を進めていくために、複数回に渡り各部署をご紹介します。初回は、協力施設連携室の皆さんです。

協力施設連携室の役割

私たちは、REBIND事業との窓口としての役割を果たしています。REBINDにご参加済みの研究協力/実施施設の皆さまはもちろんのこと、本事業に関心をお持ちで参加をご検討いただいているご施設の方など、様々な方にご活用いただける問い合わせ窓口を設けております。

どんな時に連絡すればいいの？

本事業にご参加いただいている施設において、同意取得の補助や検体採取キットの手配、臨床情報の登録方法やEDCの利用案内、新規参加に関する問い合わせ、広報など、事業全般に関してのお問い合わせを受けつけております。協力施設連携室の担当外のご相談の場合も、適宜担当部署にお繋ぎしますので、疑問に思う点がございましたらまずは当室にご相談ください。

協力施設連携室からのメッセージ

こんにちは、協力施設連携室です。まずこの場をお借りして、REBINDにご協力くださっているご施設と患者様の多大なるご尽力に、改めて感謝申し上げます。私たちはチームの名前の通り、本事業にご協力くださる皆様と密に連携を取り、事業に際して生じる手続きや疑問点をスムーズに解決できるよう日々努めております。また、皆様からのご意見は、より良い事業運営のためには必要不可欠なものです。当事業に参加するにあたりお気づきの点やお困り事がございましたら、小さなことでも結構です。お気軽に当室にご相談下さい。スタッフ一同、皆様からのご連絡をお待ちしております！

問い合わせ先

【REBIND協力施設連携室】電話：050-5369-6581(推奨) / 03-6205-6593(月～金：9-17時)

E-mail: rebind.contact@hosp.ncgm.go.jp

＼ 私たちがREBIND協力施設の窓口です！ ＼



研究協力機関への試料・情報の還元について

ご施設からREBINDへ提供していただいたCOVID-19およびエムボックスの情報の還元に関する伺い書にて、11施設よりご希望を伺いました。現在、ご希望に合わせた情報の送付準備を各担当チームで進めております。尚、試料*1(DNA、血漿、PBMC)につきましてはご案内の準備中です。

*1 試料(DNA、血漿、PBMC)、ヒトゲノム情報等の輸送料実費は原則依頼者の負担になり、試料の還元はREBINDでの保存試料が十分量確保された場合に限定されます。

*2 ヒトゲノム情報の還元を希望される場合、暗号化機能付き、セキュリティロック可能なデータ格納用ハードディスクを用意し、予め指定した送付先にお送りください。該当データをREBINDにて格納後、セキュリティガード便にて返送します。

*3 臨床情報は2か月に1回還元予定です。

還元が可能な情報リスト

試料・情報名	還元内容
ヒトゲノム情報*1 *2	gVCF
病原体ゲノム情報	GISAI accession code
臨床情報	・全ての入力済みデータ ・データ固定済みのIDリスト*3

REBIND紹介動画を作成しました(詳細内容は4ページを参照ください)

一般の皆様にREBINDを知っていただき、研究者の皆様に広く活用していただくことを目的として、5分30秒のREBINDの紹介動画を作成しました。

REBIND事業の概要、全国の研究協力機関のご協力により検体・臨床情報が収集されていること、収集された検体が調製され病原体ゲノム解析・ヒトゲノム解析を実施していること、試料保管倉庫、解析室等を紹介しています。

研究者の皆様にREBINDを活用していただけるよう、これからも情報発信を行ってまいります。

YouTubeでも公開いたしましたので、ぜひご覧ください。 [REBIND](#)



REBIND進捗状況

REBINDで現在、参加いただいているご施設の状況及び収集・保管している試料・情報の概要をお知らせ致します。



参加施設状況

2024年3月5日現在
暫定集計

【COVID-19登録状況】

- 試料・情報 25施設参加
- 症例登録 1117例

【エムボックス登録状況】

- 試料・情報 4施設参加
- 症例登録 32例

【小児肝炎登録状況】

- 試料・情報 1施設参加
- 症例登録 1例

【REBIND同意取得例数】

(上位3施設)

- 1.NCGMセンター病院
617件
- 2.練馬光が丘病院
69件
- 3.常滑市民病院
62件

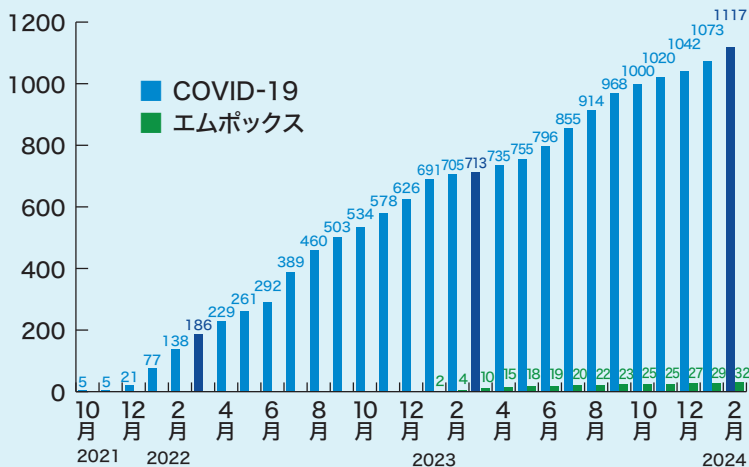
● 医療情報

13施設参加



登録症例数推移(累積)

2021年10月
～2024年2月

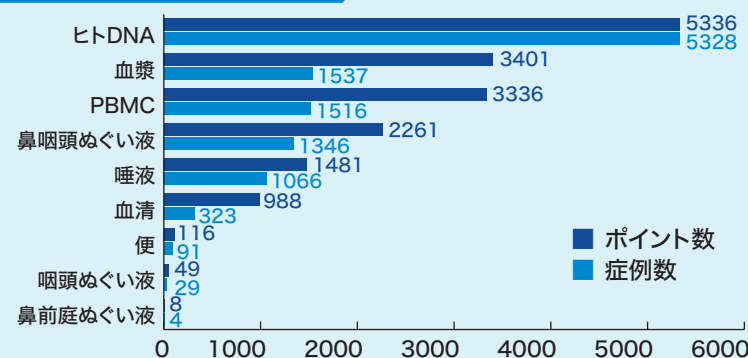


試料

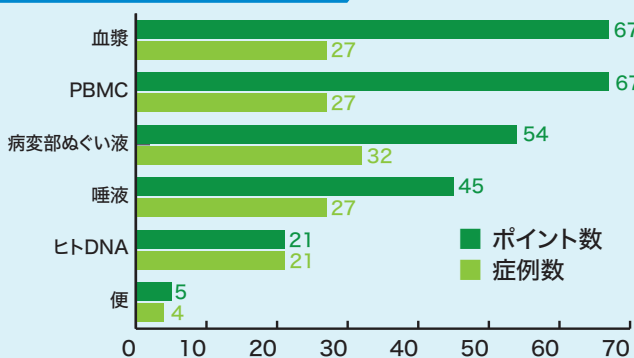
他研究からREBINDへ提供を受けた試料を含みます。

2024年1月末 暫定集計

収集試料(COVID-19)



収集試料(エムボックス)

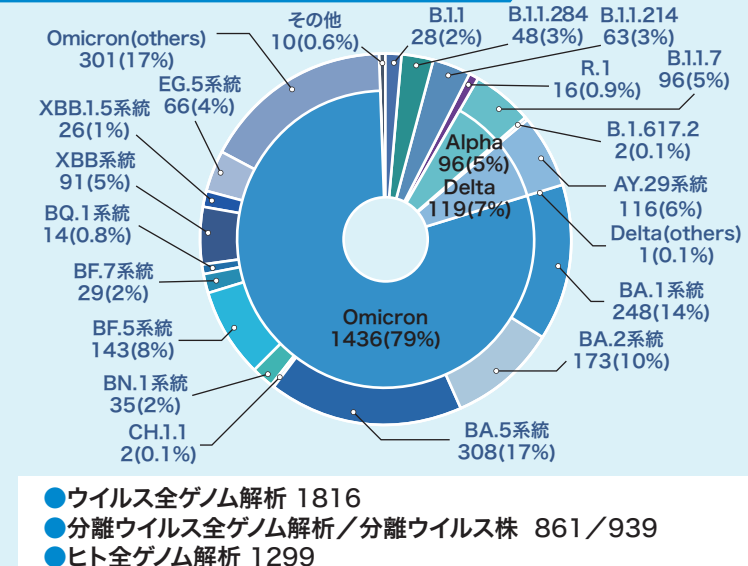


情報

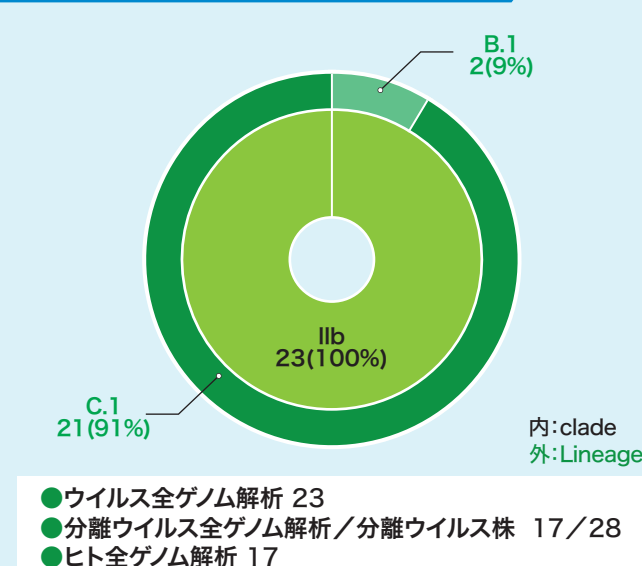
他研究からREBINDへ提供を受けた試料を含みます。

2024年1月末 暫定集計

ウイルス全ゲノム解析(COVID-19)



ウイルス全ゲノム解析(エムボックス)



Topics

REBINDダッシュボード公開について ～登録データを見える化します～

この度、REBINDに登録されたデータを活用したダッシュボードを、REBINDポータルサイトに公開する予定ですので、一足先に概要についてご紹介いたします。

作成の経緯

私たちは新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的なパンデミックを経験し、新興・再興感染症が発生した際に、いかに素早くその疾患の疫学的特徴や病態を把握することが大切かを学びました。迅速に収集されたそれらの情報は、医療機関や一般社会における感染対策だけでなく、政策決定の一助にもなる大変重要な情報です。REBINDは、今後起こりうる新興・再興感染症に対して、病態解明、

重症化因子・予後因子の解明、診断や治療方法の改善、並びに、医薬品等の開発に資する研究を行うための基盤を提供することを目的としたデータバンクです。したがって、多くの医療機関や患者さんの協力のもと収集された情報を、いち早く社会に還元していく事が重要な使命だと考えています。

概要

この度、本レポジトリにどのような症例が登録されているのか、症例にはどのような傾向があるのかなどを、視覚的に閲覧できる「ダッシュボード」を公開することとなりました。ダッシュボードとは、登録されているデータを、表やグラフでわかりやすく表示するツールです。これにより、重症患者の推移、年齢男女構成、症状、併存疾患、

薬物治療、呼吸補助治療に関する情報を俯瞰することができます。また、利用者が関心のある期間を月単位で指定して、その範囲における症例の情報を表示することもできます。一般の方、医療関係者の皆様、メディア関係者など、どなたでも REBIND に登録された症例について「目で見てわかる」情報をご利用いただけます。

公開予定

本ダッシュボードは、令和6年春に、ポータルサイトへ公開される予定です。公開後は、定期的に新しいデータへ更新を予定していますので、ぜひご活用いただければと存じます。また、この度は第一弾として COVID-19の症例情報をもとにしたダッシュボードを作成しますが、

今後は対象となる疾患を増やしていく予定です。REBINDは、迅速に、そしてより多くの皆様にご活用いただけるデータを蓄積できるよう、今後とも努めてまいります。

機能紹介(利用イメージ)



▲ダッシュボードの機能

REBIND紹介動画公開のお知らせ

この度、REBIND公式YouTubeチャンネル「REBIND 新興・再興感染症データバンク事業ナショナル・リポジトリ」(URL: www.youtube.com/@REBIND-jimukyoku)を新設し、REBINDの紹介動画を公開しました。一般の皆様にはREBINDを知っていただき、研究者の皆様には広く利活用していただくことを目的に、事業概要や利活用いただける試料・データについて、動画にまとめています。対象患者さんへの説明等にも是非ご活用ください。

<動画内容>

■REBINDの紹介

- ・事業概要
- ・取り扱う試料・データ

REBINDの目的や事業内容についてご説明しています。
各研究機関の担う役割など、事業実施体制についてもご紹介しています。

■REBINDが保管・管理している試料について

- ・利活用可能な試料
- ・試料の保管について

血漿、PBMC、ヒトDNA、鼻咽頭ぬぐい液、唾液、
分離した病原体など、利活用が可能な試料についてご紹介しています。

■REBINDが収集・保管しているデータについて

- ・臨床情報について
- ・ゲノム解析データについて

ワクチン接種歴や入院時の治療内容などの臨床情報、
FASTQ、gVCFなどのゲノム解析データについて、ご紹介しています。

■利活用のご案内

- ・専用解析室について
- ・ショーケースについて
- ・利活用申請について

REBINDポータルサイトやショーケースなどの利活用申請についてご紹介しています。

<REBIND公式YouTubeチャンネル>

「REBIND 新興・再興感染症データバンク事業ナショナル・リポジトリ」

(URL: www.youtube.com/@REBIND-jimukyoku)

QRコードからもアクセスができます。ぜひご覧ください。

REBIND公式YouTubeチャンネルでは、今後も様々な動画公開を検討しています。

動画の御感想や御意見等がございましたら、どうぞお気軽に事務局にお寄せください。

REBIND事務局: rebind-office “AT” hosp.ncgm.go.jp (“AT”を@に変換し、送信先としてご利用ください。)



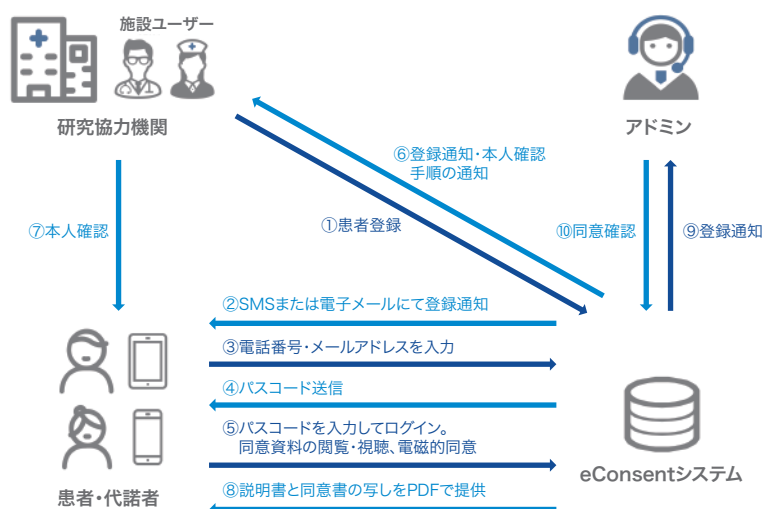
アクセスは
こちら



REBINDでのeConsentシステム導入予定のお知らせ

患者や代諾者から遠隔同意をより円滑に取得するため、eConsentシステム(電磁的同意システム)を構築しています。まずは国立国際医療研究センターから導入し、2024年9月頃より他施設での導入を見込んでいます。その前にお試し期間も設ける予定です。本システムは、対象者(患者や代諾者)がログインをして動画を視聴したりイラスト付き資料(紙芝居)を読み進める、患者・代諾者主導型のシステムです。患者・代諾者のログインには、登録した連絡先(電話番号又はメールアドレス)とワンタイムパスワードを使用します。患者・代諾者はPW設定が必要なく、使いやすいシステムとなっています。

研究協力機関では、対象者(患者や代諾者)の連絡先を登録したり、本人確認を行ったり、同意書の確認を行っていただく予定です。患者対応や同意管理がより簡単になるようなシステムを目指して開発しておりますので、是非楽しみにしていただくと幸いです。



発行日:2024年3月

TEL:03-3202-7181 MAIL:rebind-office@hosp.ncgm.go.jp

address:東京都新宿区戸山1丁目21-1

Copyright ©National Center for Global Health and Medicine. All rights reserved.

詳細はこちらから
ご確認ください



URL : <https://rebind.ncgm.go.jp/>